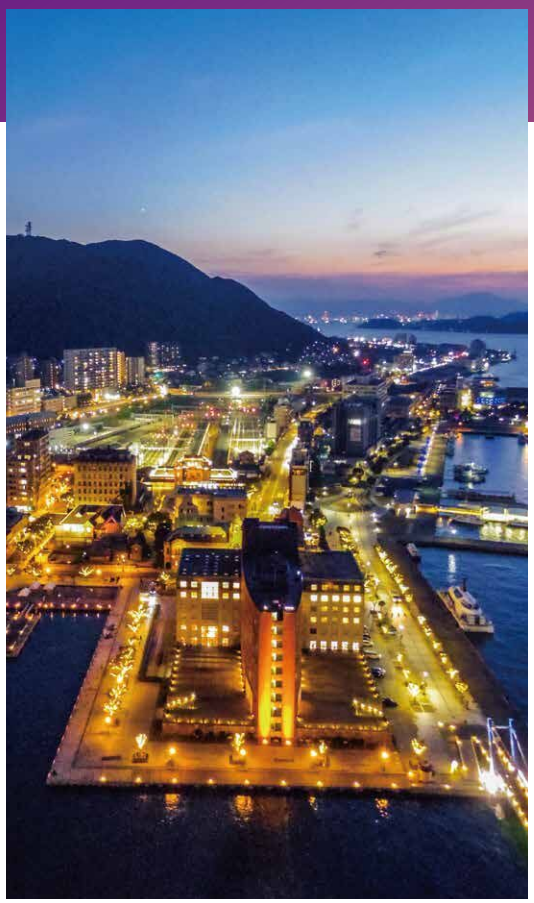


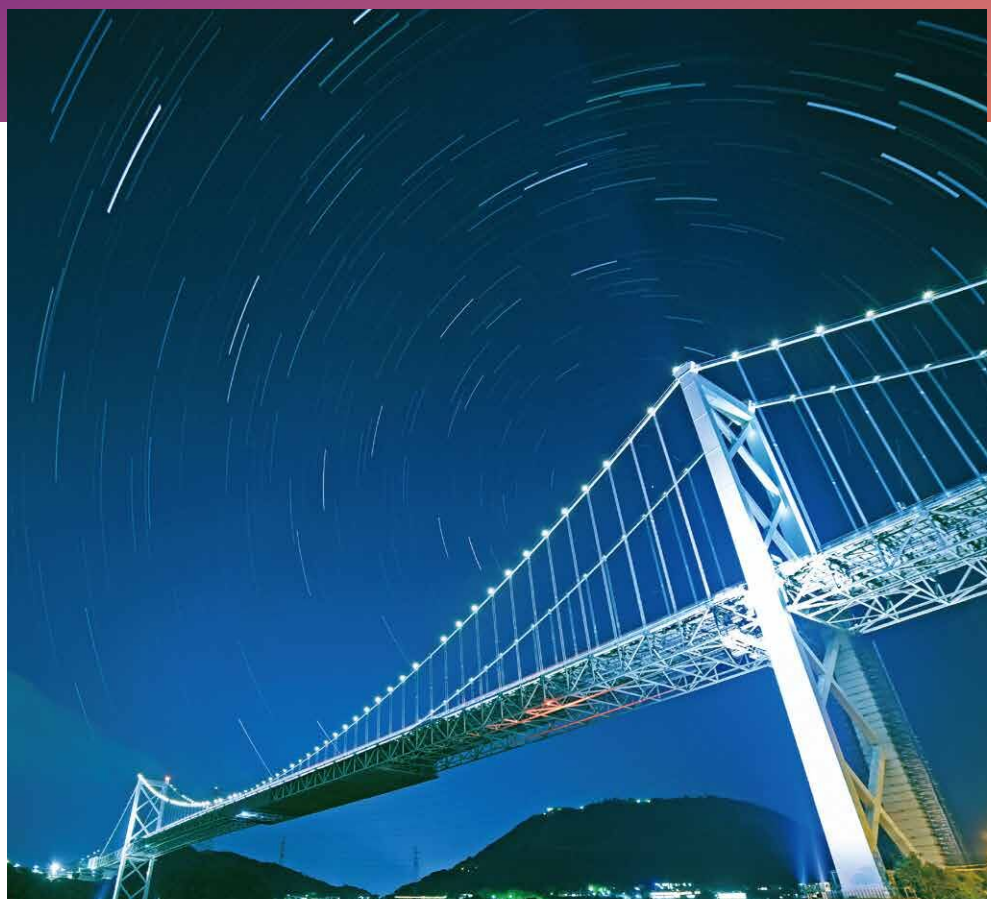
福岡で取り組む、
医療の最前線

FUKUOKA 2026

福岡県専門研修ガイド

福岡県
Fukuoka Prefecture







FUKUOKA 2026

福岡県 専門研修 ガイド

従来の各学会が“独自で運用する”認定プログラムを第三者機関である「日本専門医機構」によって運用することになり、それまでバラバラであった専門医資格の認定基準が、「新専門医制度」によって統一されることになりました。働きやすい医療環境への取り組みに積極的な福岡県では、医師のキャリア形成や女性医師の就労継続、医療従事者の勤務環境改善の支援など、あなたが十分にキャリアを発揮できる専門研修の環境をご用意しています。働きがいを高める研修制度やキャリアアップ制度などに対する支援にも積極的に取り組み、そのためのアドバイスや相談も行っています。また、新たな専門医資格の取得を可能とするプログラムの整備を促進し、キャリアアップをサポートしています。ここ福岡が、あなたの活躍の場を広げます。

INFORMATION 専攻医登録（応募）スケジュール

下記は2027年度の「専攻医登録（応募）スケジュール」になります。再来年度以降の専門研修希望の方も来年度のスケジュールを参考に専攻医登録の準備をしましょう。機構のホームページには新たな情報がアップされますので、随時チェックする様にしておきましょう。

【専攻医第1次募集】

応募期間	2026年11月 2日(月)正午～2026年11月13日(金)正午まで
採用調整期間	2026年11月17日(火)正午～2026年11月24日(火)正午まで
採否結果通知	2026年11月27日(金)正午
募集実施確認期間	2026年11月24日(火)正午～2026年11月27日(金)正午まで

【専攻医第2次募集】

応募期間	2026年11月30日(月)正午～2026年12月11日(金)正午まで
採用調整期間	2026年12月14日(月)正午～2026年12月22日(火)正午まで
採否結果通知	2026年12月24日(木)正午
募集実施確認期間	2026年12月22日(火)正午～2027年 1月 8日(金)正午まで

【専攻医募集 最終調整期間】

応募期間	2027年 1月 8日(金)正午～ 2027年 1月22日(金)正午まで
採用調整期間	2027年 1月25日(月)正午～ 2027年 1月29日(金)正午まで
採用結果通知	2027年 2月 2日(火)正午

※一般社団法人日本専門医機構（https://jmsb.or.jp/）参照

【臨床研究医コース募集開始のご連絡】

専攻医募集期間	2026年 9月 1日(火)正午～ 2026年9月18日(金)正午まで	採用通知（メールにて通知）	2026年10月13日(火)正午

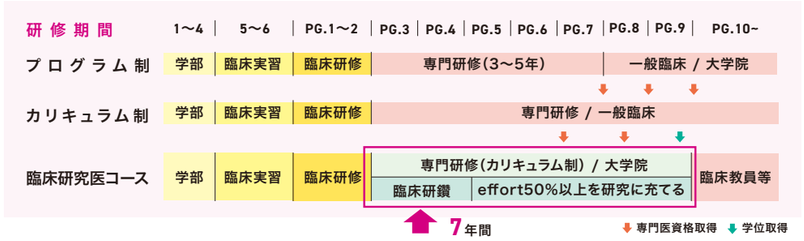
※ 臨床研究医コースに不採用となった場合は、上記一般領域への応募が可能です。

TOPICS 専門研修豆知識

■ プログラム制とカリキュラム制、臨床研究医コースについて

新専門医制度は基幹施設・連携施設の専門研修施設群による研修期間設定のあるプログラム制が原則となっておりますが、「新整備指針」により、地域枠医師や出産子育て、介護、留学、その他の事情でプログラム制により研修が困難な場合は、カリキュラム制（原則研修期間設定のない）による研修が用意されています。

また、2021年度から、臨床研究医を養成する目的で「臨床研究医コース」（研修期間7年/カリキュラム制）が新設されました。同コースの募集は一般の19領域に先駆けて実施するため、不採用となった場合は一般領域への応募が可能です。



■ サブスペシャルティ領域の連動研修について

日本専門医機構は、現在、基本領域の内科・外科・放射線科に対して24のサブスペシャルティ領域を認め、その内、15領域については、基本領域研修の途中からサブスペ領域を学べる連動研修を認めております。「専門研修に関する疑問」の「サブスペシャルティって何があるの？」を確認しましょう。

県内の内科・外科・放射線科のサブスペシャルティ領域および連動研修情報の詳細を知りたい方はこちらへ

制度については、ページ下部の［サブスペシャルティ領域専門研修細則］をご参照ください

■ 診療科別のシーリング（募集定員の上限）について

2027年度の専攻医登録については、地域別に外科・産婦人科・病理・臨床検査・救急・総合診療を除く13の基本領域に対して個別のシーリングが設定されている場合があります。福岡県においては、内科・精神科・整形外科・放射線科・泌尿器科・麻酔科・形成外科・リハビリテーション科にシーリングが設定されており、基本となる「通常プログラム」のほか、シーリング対象外の都道府県で研修を行う「連携プログラム（期間が1年6か月以上）」、足下充足率が低い都道府県の医師少数区域で研修を行う「特別地域連携プログラム（期間が1年以上）」が設定されています。

2027年度プログラム募集シーリング数を知りたい方はこちらへ

■ 参考

「専攻医登録・応募」
https://jmsb.or.jp/senkoi/#an02

「専攻医の方 よくある質問」
https://jmsb.or.jp/senkoi_faq/

■ ダブルボードについて

日本専門医機構では、19の基本領域のうち2つの領域（以下、ダブルボード）の専門医資格を持つことを認めています（同時に3つ以上の専門医を持つことは推奨されておりません）。例えば、内科専門研修プログラム修了後に総合診療専門医を目指す医師は、規定のダブルボードカリキュラム制（単位制）の制度での研修を行うことで、内科専門研修プログラムでの研修歴および症例の一部を、総合診療専門研修プログラムでの研修歴および症例として認定し、期間を短縮することができます。

専門医は、標準的で適切な診断・治療を提供できることが求められるため、ダブルボードを持つ医師は、それぞれの基本領域の専門性を兼ね備えた医師でなければなりません。日本専門医機構では、ダブルボード取得を志す医師について、将来にわたり、それぞれの領域での専門医資格更新が可能かどうかを十分考えてから取得を目指す必要がある、としています。

［ ダブルボードが認められている領域 ］

内科	▶リハビリテーション科	外科	▶救急科
整形外科	▶リハビリテーション科	内科	▶総合診療
外科	▶リハビリテーション科	総合診療	▶内科
小児科	▶リハビリテーション科	総合診療	▶救急科
リハビリテーション科	▶整形外科	救急科	▶総合診療
救急科	▶整形外科	内科	▶救急科
整形外科	▶救急科	救急科	▶内科
救急科	▶外科		

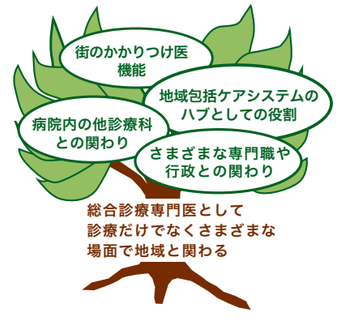
※2026年10月現在

■ 新専門医制度により、ますます期待が高まる「総合診療医」

今後の急速な高齢化などにより、総合的な診療能力を有する医師の専門性を学術的に評価する事が求められ、「総合診療専門医」が19番目の新たな基本診療領域の専門医として位置づけられました。

総合診療専門医は、日常遭遇する疾病と傷害などに対して適切な初期対応をし、必要に応じた継続的な診療を全人的に提供します。地域のニーズを踏まえた疾病の予防・介護・看とりなど、保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する使命を担います。

また、専門医機構は、総合診療専門医取得後の内科専門医取得（ダブルボード）を認めています（同様に、内科専門医取得後の総合診療専門医取得も認められています）。



専門研修に関する疑問

Question & Answer



Q 新しい専門医制度の対象は誰？

A 原則として、初期臨床研修を2018年3月末以降に修了した医師で、基本領域の専門研修を希望する方々です。

Q 新しい専門医制度はどんなもの？

A 基本領域とサブスペシャルティ領域の二段階制になっています。
基本領域科目は次のページで確認しよう！

Q 専門研修施設はどうなるの？

A 地域の中核病院などが基幹施設となり、関連する連携施設と研修施設群を構成し、研修プログラムに基づき各研修施設でローテート研修を行います。
福岡県の研修プログラムは次のページの「基幹施設一覧」で確認しよう！

Q 「専攻医」になって専門医資格を取得するまでの流れは？

A 専門医資格を取得するまでの基本的な流れを確認しよう！

1 「専攻医」になるための登録・応募
登録を希望する基本領域学会のホームページを窓口として「専攻医登録」の申請をします。

2 プログラムごとに試験や面接
選考基準は各プログラムで規定されており、プログラム統括責任者などから試験・面接の詳細、案内が届きます。

3 採否の通知
各プログラムには定員があるため、一次登録で研修先が決まらない場合は二次登録を行うことになります。

4 研修プログラムに沿って3年以上の研修
「専攻医」として、採用された研修プログラムに沿って3年以上の研修を受けます。

5 基本領域の専門医資格を取得
症例実績や論文発表などの修了要件を満たし、筆記試験などをクリアして基本領域の専門医資格を取得することができます。

6 サブスペシャルティ領域の専門医資格を取得
基本領域の専門医資格を取得した後、さらに専門性に特化したサブスペシャルティ領域の専門医資格の取得をめざすことができます。



Q サブスペシャルティって何があるの？

A 2026年10月現在、日本専門医機構が認めている領域は以下となります。（日本専門医機構HP参照）

■ サブスペシャルティ領域（33領域） 令和８年６月19日現在の認定領域
※サブスペシャルティ領域専門研修細則（第二版）における研修方式の類型

連動研修を行い得る領域（連動研修方式または通常研修方式）

消化器内科	血液	腎臓	呼吸器外科	乳腺外科
循環器内科	内分泌代謝・糖尿病内科	膠原病・リウマチ内科	心臓血管外科	放射線診断
呼吸器内科	脳神経内科	消化器外科	小児外科	放射線治療

連動研修を行わない領域（通常研修方式）

アレルギー	がん薬物療法	脊椎脊髄外科	小児神経	総合内科
感染症	内分泌外科	新生児	婦人科腫瘍	
老年科	集中治療科	小児循環器	手外科	

少なくとも１つのサブスペ領域を修得した後に研修を行い得る領域（補完研修方式）

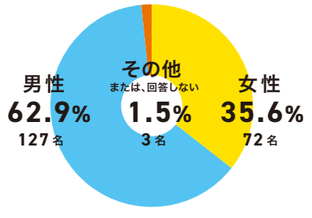
肝臓内科	内分泌代謝内科
消化器内視鏡	糖尿病内科
放射線カテーテル治療	

FUKUOKA × RESEARCH

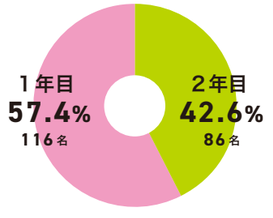
福岡県の現役“研修医”にアンケートを実施しました！

※各項目ごとの無回答は外して集計しています

Q あなたの性別は？



Q 初期臨床研修年次は？



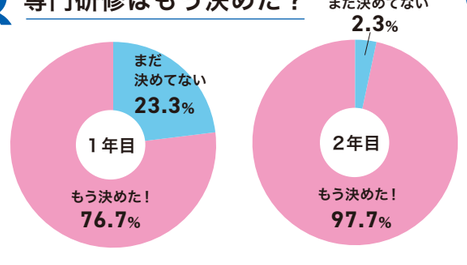
Q 現在勤務している研修先病院の種類は？

福岡県内の臨床研修病院で働く202名の研修医に聞きました



卒業大学の附属病院	15.6%
卒業大学以外の附属病院	12.1%
出身地の市中病院	42.2%
出身地以外の市中病院	29.6%
その他	0.5%

Q 専門研修はもう決めた？



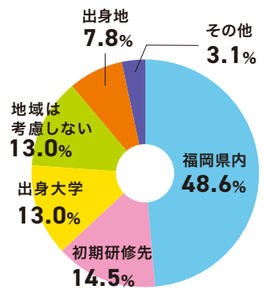
Q 将来、専門研修はどの基本領域をめざす予定？

内科	64人	救急科	9人	眼科	3人
外科	24人	病理	6人	総合診療	3人
小児科	16人	皮膚科	5人	脳神経外科	2人
整形外科	12人	精神科	5人	形成外科	2人
産婦人科	10人	耳鼻咽喉科	4人	臨床検査	1人
麻酔科	9人	泌尿器科	4人		

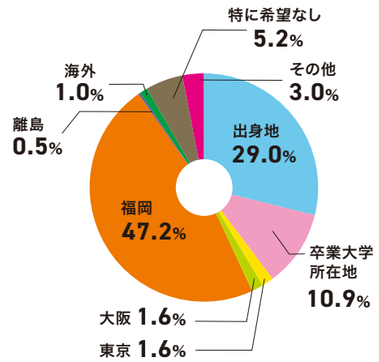
Q 専門研修プログラムを選ぶポイントは？

1位 基幹施設の規模
2位 病院の雰囲気
3位 症例数
4位 指導医
5位 給与・福利厚生
6位 選択できるサブスペシャルティの数
7位 ワークライフバランスの充実

Q 専門研修を希望する施設・地域は？



Q 将来希望する勤務地は？



Q サブスペシャルティの領域はもう決めた？

もう決めた！	まだ決めてない
44.5%	55.5%

Q 将来、サブスペシャルティはどの領域をめざす予定？

循環器内科	17人	糖尿病内科	5人	小児外科	2人
消化器内科	15人	心臓血管外科	5人	乳腺外科	2人
腎臓	7人	内分泌代謝	4人	アレルギー	2人
呼吸器内科	6人	血液	3人	リウマチ内科	1人
呼吸器外科	6人	脳神経内科	3人	感染症	1人
集中治療科	6人	消化器外科	3人	がん薬物療法	1人

Q 大学医局への所属予定は？

予定している	予定していない	まだわからない
70.5%	6.5%	23.0%
研修２年目…73名 研修１年目…68名	研修２年目…9名 研修１年目…4名	研修２年目… 4名 研修１年目…42名

“福岡県”専門研修基本19領域 基幹施設一覧

（令和8年10月 日本専門医機構登録機関）

県内の内科・外科・放射線科のサブスペシャルティ領域
および連動研修情報の詳細を知りたい方はこちらへ

※内科・外科のサブスペシャルティ領域の連動研修プログラムがある場合は「●」で記載しています。
※放射線科のサブスペシャルティ領域および連動研修については、該当施設に直接お問い合わせください。



★連動研修可

地域			福岡																										筑後														筑豊		北九州													
基幹施設 / 基本診療領域	研修期間（年）	プログラム数	雁の巣病院	九州医療センター	九州大学病院	九州中央病院	済生会福岡総合病院	千鳥橋病院	福岡大学西新病院	浜の町病院	福岡記念病院	福岡市立こども病院	福岡赤十字病院	福岡大学病院	福岡和白病院	白十字病院	あおばクリニック	福岡青洲会病院	福岡東医療センター	福間病院	宗像水光会総合病院	福岡大学筑紫病院	福岡徳洲会病院	済生会二日市病院	公立八女総合病院	大牟田市立病院	久留米大学医療センター	久留米大学病院	新古賀病院	聖マリア病院	聖ルチア病院	高木病院	のぞえ総合心療病院	筑後市立病院	米の山病院	飯塚市立病院	飯塚病院	製鉄記念八幡病院	北九州総合病院	JCHO九州病院	北九州市立医療センター	北九州市立八幡病院	健和会大手町病院	小倉記念病院	産業医科大学病院	小倉医療センター	新小文字病院
プログラム数		159	1	4	19	1	4	2	1	1	1	1	3	19	3	1	1	2	2	1	1	2	6	1	1	1	1	17	2	5	1	1	1	1	2	1	7	1	1	6	3	2	5	3	18	1	1
内科	3	30		●	●	●	●	○	●	●			●	●	●	●			●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●		●	●		●	●	●		●		●
小児科	3	10			○							○		○														○		○						○			○			○			○	○	
皮膚科	5	4			○									○														○																	○		
精神科	3	8	○		○									○						○								○			○		○												○		
外科	3	16		●	●		●						●	●	●				●				●					●	●	●					●			●	●			●	●		●		
整形外科	4	6			○									○								○						○																○		
産婦人科	3	5			○									○														○							○									○		
眼科	4	4			○									○														○																	○		
耳鼻咽喉科	4	4			○									○														○																	○		
泌尿器科	4	4			○									○														○																	○		
脳神経外科	4	5			○									○	○													○																	○		
放射線科	3	4			○									○														○																	○		
麻酔科	4	13			○						○			○									○					○		○						○			○	○	○		○	○	○		
病理	3	4			○									○														○																	○		
臨床検査	3	3			○									○																															○		
救急科	3	13		○	○		○							○				○					○					○		○						○			○		○	○		○		
形成外科	4	5			○									○									○					○																	○		
リハビリテーション科	3	4			○									○														○																	○		
総合診療	3	17		○	○		○	○					○	○			○	○			○		○			○							○	○	○	○			○			○					

福岡県専門研修基幹施設マップ



博多区中洲の那珂川の夜景



北九州。関門橋の夜景



福岡市内の夜景

筑後川昇開橋

福岡

01 雁の巣病院
02 九州医療センター
03 九州大学病院
04 九州中央病院
05 福岡県済生会福岡総合病院
06 千鳥橋病院
07 福岡大学西新病院
08 浜の町病院
09 福岡記念病院
10 福岡市立こども病院
11 福岡赤十字病院
12 福岡大学病院
13 福岡和白病院
14 福岡青洲会病院
15 福岡東医療センター
16 福間病院
17 宗像水光会総合病院
18 福岡大学筑紫病院
19 福岡徳洲会病院
20 白十字病院
21 済生会二日市病院
22 あおばクリニック

筑後

23 公立八女総合病院
24 大牟田市立病院
25 久留米大学病院
26 新古賀病院
27 聖マリア病院
28 聖ルチア病院
29 高木病院
30 のぞえ総合心療病院
31 筑後市立病院
32 米の山病院

筑豊

33 飯塚市立病院
34 飯塚病院

北九州

35 製鉄記念八幡病院
36 北九州総合病院
37 JCHO九州病院
38 北九州市立医療センター
39 北九州市立八幡病院
40 健和会大手町病院
41 小倉記念病院
42 産業医科大学病院
43 小倉医療センター
44 新小文字病院

福岡県 Fukuoka Prefecture

福岡県地域医療支援センター
福岡県 保健医療介護部 医療指導課
医師・看護職員確保対策室

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号
TEL：092-643-3330　FAX：092-643-3277
E-mail：ishikango@pref.fukuoka.lg.jp　URL：https://www.pref.fukuoka.lg.jp

福岡県臨床研修病院ガイド2026

福岡県内の臨床研修病院全43施設を網羅したガイドブック「福岡県臨床研修病院ガイド」の2026年度版が完成しました。

https://cms.fukuoka.jp/
※こちらからご覧いただけます。

